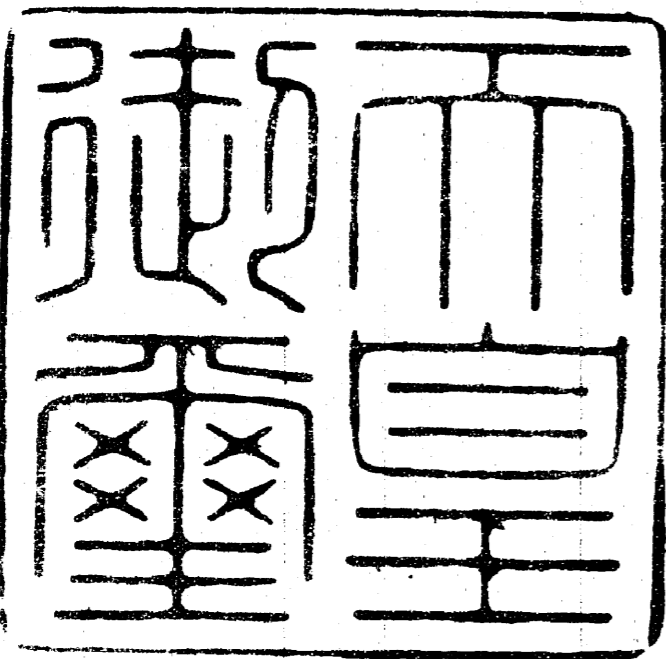


勅令第二十一號

朕防空法施行令中改正ノ件ヲ裁
可シ茲ニ之ヲ公布セシム

裕仁



昭和十九年一月七日

内閣總理大臣兼 陸軍大臣軍需大臣	東條英機
厚生大臣	小泉親彦
司法大臣	宮村道雄
海軍大臣	嶋田繁太郎
大藏大臣	賀屋興宣
運輸通信大臣	八田嘉明
内務大臣	安藤紀三郎
農商大臣	山崎達之輔
文部大臣	岡部長景

勅令第二十一號

防空法施行令中左ノ趣改正ス

第一條ヲ第一條ノ二トス

第一條 防空法第一條ノ規定ニ依リ事項ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 被爆見場ノ考片付其ノ池ノ清掃（以下清掃ト稱ス）

二 蹴球等ニ依ル且堪（以下且堪ト稱ス）

三 飲料水ノ供給（以下給水ト稱ス）

四 緊急運命

五 緊急勞務ノ調整

第一條ノ二條四項ハ別リ同條第二項ヲ左ノ如ク改メ同條第一條ノ三トス

内閣總理大臣兼

東條英機

地方長官以外ノ地方官應ハ其ノ所管事務ニ付計畫スベキ事項ニ
關シ防空計畫ヲ決定スベシ

第一條ノ四 軍司令官、鎮守府司令長官又ハ海軍府司令長官ハ陸
海軍ノ行フ防衛ニ關係セシムル爲メ防空計畫ノ決定ニ基準ト爲ル
ベキ事項ヲ定メ之ヲ關係地方官應ニ提示スベシ

第二條中「毎里」ノ下ニ「、自動車交通一ヲ加フ

第三條第一頁第一號中「瓦斯通信機」ノ下ニ「電燈、一ヲ、
司令官第二號中「學校、一ノ下ニ「病院、一ヲ、司領第三號中「學
校、一ノ下ニ「倉庫、病室、一ヲ、職員第四號中「蒸氣、一ノ下
ニ「病院、一ヲ、「百貨店、一ノ下ニ「工場、倉庫、公園、市場
、一ヲ加ヘ「又ハ救護一ヲ」、救護、防衛、非常用物資ノ配給、

兵隊又ハ台水一ニ女ノ司員ニ任ノ一號ヲ加フ

凡 工場、商店、市場、臨時建築物ノ項ニ付テハ且應ニ關シ必

要ナルモノ

同條第二頁第三號中「病院、一ノ下ニ「倉庫、病室、一ヲ加ヘ「
又ハ救護一ヲ」、救護、防衛、非常用物資ノ配給、兵隊又ハ台水
一ニ女ム

第三條ノ二 主務大臣ハ防衛去第百九條ノ七ノ規定ニ依リ重要ナル
機密物資ニ付移轉ヲ命ズルコトヲ得

主務大臣ハ防衛去第百九條ノ七ノ規定ニ依リ至急ニ移轉又ハ
保護ニ付シテ、小規模物件ハ轉換ヲ命ジ又ハ轉換ノ爲メ必要ナル
施設、設備等ハ器材ノ整備ヲ命ズルコトヲ得

内閣總理大臣兼

東條英機

一 重要ナル總動員物資ノ生産、加工、修理、保管又ハ配給ニ
關スル施設又ハ事業

二 電氣、瓦斯又ハ水道ニ關スル施設、ハ事業

三 運輸通信又ハ交通ニ關スル施設又ハ事業
地方長官ハ訪宅去第百五條ノ七ノ規定ニ依リ左ニ掲グル物件ニ付
多量ヲ貯スルコトヲ禁

一 暴變性、發火性又ハ引火性ノ物品

二 有毒性ノ物品

三 食糧、燃料其ノ他ノ總動員物資

第百三條ノ三 訪宅去第百五條ノ八ノ規定ニ依リ夜間又ハ使用スルコ
トヲ禁ル七也、工作物又ハ物件ハ左ニ掲グルモノトス

一 監視宿舍、改裝所、非常目物倉庫車、防害資材倉庫、汚物
處理場ノ頂ノ整備ニ付テハ土地又ハ工作物

二 消防直番、水道、地下直、防空寺塔所、貯水槽、井戸ノ頂
ノ整備ニ付テハ土地

訪宅去第百五條ノ八ノ規定ニ依リ使用スルコトヲ禁ル七也、工作
物又ハ物件ハ左ニ掲グルモノトス

一 通信線ノ架設ニ付テハ土地又ハ工作物

二 阻害氣球繫揚設備ノ整備ニ付テハ土地又ハ繫揚用機具藥品
ノ頂

第百三條ノ四 土地工作物管理使用令百三條第一頁、第百四條ノ
至第百六條（官報公告ニ關スル部分ヲ除ク）、第百八條乃至百十一

内閣總理大臣兼

東條英機

條、第十二條第一頁及第三頁、第十五條、第十六條第一頁前段
及第二二、第十七條並第二十三條ノ規定ハ訪徑去再五條ノ八
ノ規定ニ依リ也方長官上地、工作物又ハ物牛ヲ改用又ハ使用ス
ル場合ニシテ準用ス但シ司合百十五條、第十六條第二頁及第十
七條中適合トアルハ命令トス

前頁ニ規定スルモノノ外同頁ノ改目又ハ使用ニ關シ必要ナル其
頁ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條ノ五 内務大臣ハ方長官再五條ノ九ノ規定ニ依リ其ノ指定
スル區域内へ轉居セントスル者ヲシテ地方長官又ハ内務大臣ノ
指定スル者ノ許可又ハ證明ヲ受ケシムルコトヲ得

第三條ノ六 内務大臣ハ訪徑去再五條ノ九ノ規定ニ依リ其ノ指定

スル區域内へ轉居所定ノ也ノ義務ノ妨所ヲ一應シ又ハ其ノ區域
内ニ於テ義務所定ノ也ノ義務ノ一併ヲ所定セントスル者ヲシテ
他ノ之ヲ行ハズ可ク受ケンムレトヲ得

第三條ノ七 内務大臣ハ訪徑去再五條ノ九ノ規定ニ依リ公務又ハ
應力義務ノ爲メノ也特別ノ理由ニ因リ其ノ自己スル區域内ニ
居住スルヲ必要トスル者以下ノ者ニ付シ當該區域外へノ轉居ヲ
命ズルコトヲ得

内務大臣ハ方長官再五條ノ九ノ規定ニ依リ轉居所定ノ也ノ義務
ノ妨所ニシテ應力義務ノ爲メノ也特別ノ理由ニ因リ其ノ指定
スル區域内ニ居住ヲ必要トスルモノ以外ニモノニ付其業主又ハ
當該義務ノ妨所ノ管理者ニ付シ當該區域外へノ轉居ヲ命ズルコ

内閣總理大臣兼

東條英機

トテ

三 地方官ノ八 地方官五條ノ六ノ規定ニ依ル處テ其ノ他ノ理由ニ
 因リ住居ヲ遷シ又ハ業務ノ為テ近テ多敷スルノ已ムキニ至リタ
 ルヤニシテ司去存凡條ノ十二ニ規定スレ處或ハニ居住シ又ハ業務
 ノ為テ近テ有スルヲ必要トスルモノノ居住又ハ業務ノ月ニ供スル
 爲ニ必要アル場合ニ於テハ地方官ハ司去存ノ規定ニ依リ左ノ各條
 ノ一ニ該当スル建築物ノ全部又ハ一部ニ付其ノ管理者又ハ所有
 者ニ付シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

一 建築

二 事務所、事務所ノ類ニシテ間日ノ現況ニ鑑ミテシク余裕ア
 リト認めラレルモノ

三 共同住宅、寄宿舎、下宿舎、旅館ノ類

四 俱樂部、集會所、興行場、料理場、寺合ノ類

前頁ノ必要ナル命令ハ左ノ各條ノ定ムル所ニ依ル

- 一 前頁第一號又ハ第二號ニ掲グル建築物ニ付テハ新ニ貸付ケ
 又ハ借主ヲ變更セントスル場合ニ於テ地方長官ニ届出ツベキ
 旨ノ命令又ハ其ノ許可ヲ受クベキ旨ノ命令
- 二 前頁第三號又ハ第四號ニ掲グル建築物ニ付テハ増設各條ニ
 掲グル租金以外ノ租金ニ付セントスルニ於テ地方長官ニ
 届出ツベキ旨ノ命令
- 三 地方長官ノ指定スル若シ期間ヲ限リ貸付クベキ旨ノ命
 令但シ前頁第三號ニ掲グル建築物ニ在リテハ其ノ管理者又ハ

内閣總理大臣 齋藤實

東條英機

所有者が同様ニ揚グル用途以外ノ用途ニ之ヲ供セントスル場
合ニ限ル

四 除却、放棄又ハ多棄ノ制限ニ關スル命令

第一項ニ規定スル者ノ居住又ハ業務ノ用ニ供スル爲テ必要ア
ル場合ニ於テハ地方長官ハ法律第五條ノ十ノ規定ニ依リ住宅
（店舗、事務所ノ類ヲ兼ヌルモノヲ含ミ第一項第三號ニ掲グル
モノヲ除ク本條中以下同ジ）ニ付其ノ管理者又ハ所有者ガ所ニ
貸付ケ又ハ借主若ハ月金ヲ變更セントスル場合ニ於テ地方長官
ニ届出ツベキ旨ノ命令又ハ其ノ許可ヲ受クベキ旨ノ命令及此ノ
命令ニ於テ地方長官ノ指定スル者ニ對シ期間ヲ限り也ニ優先シ
テ貸付クベキ旨ノ命令位ニ之ガ除却、放棄又ハ多棄ノ制限ニ關

スル命令ヲ爲スコトヲ得

也与長官が前項ノ規定ニ依リ主宅及其ノ空家ヲ居住ノ用ニ供ス
ル爲貸付クベキ旨ノ命令ヲ爲スコトヲ得ルハ該建築物ノ全部
ヲ同一ノ世帯ニ對スル者ノ用ニ供セシメントスル場合ニ限ル

第三條ノ九 法律ニ關シ公益上特ニ緊要ナル施設ニシテ法律第五條

五條ノ六ノ規定ニ依ル区分其ノ也ノ理由ニ因リ多轉スルノ已ム
ナキニ至リタルモノ同去第五條ノ十二規定スル區域内ニ在ルヲ
必要トスルモノナル場合ニ於テ其ノ施設ノ用ニ供スル爲必要ア
ルトキハ地方長官ハ同條ノ規定ニ依リ該施設ノ内容上適當ト
認ムル建築物ニ付其ノ管理者又ハ所有者ニ對シ期間ヲ限り之ヲ
當該施設ノ管理者又ハ所有者ニ貸付クベキ旨ノ命令ヲ爲スコト

内閣總理大臣 齋藤

東條 内閣

ヲ得

第三條ノ十 前二條ノ規定ニ依リ地方長官が建築物ノ貸付ヲ命ジタル場合ニ於テ其ノ貸付ノ期間が三年以上ニ互ルトキハ該建築物ノ所有者ハ借主ニ付シ其ノ建築物ノ買取ヲ請求スルコトヲ得

第三條ノ十一 地方長官ハ法律第五條ノ十ノ規定ニ依リ司法官第五條ノ六ノ規定ニ依ルテ命令ニ代へ建築物ニ付シノ所有者ニ付シ之ヲ公共團體其ノ他地方長官ノ指定スル者ニ讓渡スベキ旨ヲ命ジ其ノ讓渡ヲ受ケタル者ヲシテ該建築物ヲ売却セシムルコトヲ得

第三條ノ十二 前四條ノ規定ニ依リ建築物ノ貸付若ハ讓渡ノ命令

又ハ買取ノ請求アリタル場合ニ於テ其ノ貸付若ハ讓渡又ハ買取ノ案件ハ當事者間ノ協議ニ依ル

前四ノ條義務ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ地方長官ハ必要ナル決定ヲ爲スコトヲ得

第三條ノ十三 第三條ノ八乃至前條ノ場合ニ於テ必要ナル事項ハ内務大臣之ヲ定ム

第四條第一項第二號中「内務大臣ノ」可ヲ受ケ一ヲ削ル

第五條中「應旨大臣一ヲ」重疊通旨大臣一ニ、「附系アル地方官一ヲ」刪系アル地方官總一ニ改ム

第七條ノ三 内務大臣ハ法律第五條ノ三ノ規定ニ依リ法律ノ實施ニ際シ必要アリト認ムルトキハ時ニ法律ノ實施ニ從事セシム

内閣總理大臣兼

東條英機

ルノ要アル者以外ノ旨ニ付シ情況ニ應ジ退去ヲ命ズルコトヲ得
前頁ノ規定ニ依リ退去ヲ命ズル場合ニ於テハ退去先、退去ノ方
法又ハ退去者ノ呆傻ニ必要ナル事項ヲ指示スルモノトス
第七條ノ四、第三條ノ八、第三條ノ十二及第三條ノ十三ノ規定ハ
地方長官府令去第ニ依ル命令ヲ爲ス場合ニ之ヲ
適用ス但シ同去第第八條ノ三ノ規定ニ依ル退去者ニ付シ是レ物ヲ
貸付クベキ等ノ命令ニ付スル期間ハ退去ノ期間ヲ超ユルコトヲ得
ズ

第七條ノ五、府令去第第八條ノ五ノ規定ニ依リ禁止又ハ制限ヲ爲ス
コトヲ得ル業務ハ多衆ノ來集ヲ目的トスル業務（第二頁各號ニ
掲グルモノヲ除ク）及空襲ニ因ル危害ヲ著シク増大スルノ虞ア

ル業務ニシテ内務大臣ノ指定スルモノトス

府令去第第八條ノ五ノ規定ニ依リ繼續又ハ再開ヲ命ズルコトヲ得
ル業務ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

- 一 生活必需品又ハ醫藥品ノ供給ニ關スル業務
- 二 飲食店業務
- 三 醫療ニ關スル業務
- 四 軍用物資ニ關スル業務

府令去第第八條ノ五ノ命令ハ明開ヲ限リ之ヲ爲スモノトス

第八條第一頁中「若ハ第五條ノ四乃至第五條ノ六一ヲ」、第五條
ノ四乃至第五條ノ六若ハ第八條ノ四一ニ、「第二條ニ掲グル事業
若ハ施設、第三條ニ掲グル特殊施設又ハ第三條ノ二ニ掲グル物件」

内閣總理大臣 藤田鳴鶴

東條英機

ヲ「第三條ノ八（第七條ノ四ニ於テ專用スル場合ヲ含ム）、第三條ノ九若ハ第三條ノ十一ニ掲グル建築物、第三條ノ二若ハ第三條ノ三ニ掲グル七地、工作物若ハ物件、第三條若ハ第三條ノ二ニ掲グル事業若ハ施設、第三條ニ掲グル特殊施設又ハ第三條ノ六若ハ第三條ノ七ニ掲グル事業所若ハ地ノ業務ノ場所一ニ之ム
第九條ニ左ノ四項ヲ加フ

前項ノ規定ニ依ル補償ヲ受クベキ者ハ訪管去百十三條第一項ノ至百三頁ニ掲グル借置ニ係ル七地、工作物、建築物（工事中ノモノヲ含ム本條中以下同ジ）若ハ物件又ハ當該土地ニ在ル工作物其ノ他ノ物件ヲ所有シタル者及此等ニ付所有權以外ノ權利ヲ有シタル者位ニ同去百五條ノ六ノ規定ニ依リ建築物ノ除却ヲ命

ジタル場合ニ於ケル其ノ建築物ノ存スル土地ノ所有者及其ノ七地、建築物、工作物又ハ物件が知レタル先収手続、質權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テハ地方長官ハ其ノ權利ノ目的タル物ニ付訪管去百十三條ノ規定ニ依リ交付スベキ補償金ヲ其託スベシ
先収手続者、質權者又ハ抵當權者ハ前項ノ其託金ニ付シテモ其ノ權利ヲ行フコトヲ得
前項ニ定ムルモノノ外損失賠償ニ關シ必要ナル事項ハ内務大臣之ヲ定ム

第十二條 第一頁中「母軍補助ハ一ノ下ニ」内務大臣ノ決定ニ係ルニ

内閣總理大臣兼

東條英機

ヲ加フ

第十二條ノ二 防空法第十七條ノ規定ニ依ル國軍補助ノ割合ハ左ノ各號ノ定ムル所ニ依ル

一 防空法第十五條第一項本文ニ規定スル防空ノ實施ニ要スル費用ニシテ改修ノ實施ニ系ルモノニ付シテハ其ノ全額

二 防空法第十五條第一項本文ニ規定スル防空ノ實施ニ關シ必要ナル設備又ハ資材ノ整備ニ要スル費用ニ付シテハ其ノ四分ノ一乃至三分ノ二

三 防空法第十五條第一項本文ニ規定スル防空計畫ノ設置ニ要スル費用又ハ防空ノ實施ニ改修ノ實施ヲ余クシテハ其ノ訓練ニ要スル費用、同條第五項ニ規定スル扶助金ニシテ同法第三

條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設置者ノ負擔スルモノ及同法第十六條ニ規定スル補助金ニシテ都道府縣又ハ市町村ノ負擔スルモノニ付シテハ各其ノ二カノ一

四 防空法第十五條第二項ニ規定スル設備又ハ資材ノ整備ニ要スル費用ニ付シテハ公共團體ノ爲ス整備ニ系ルモノニ在リテハ其ノ三カノ一、其ノ他ノモノニ在リテハ其ノ二カノ一

五 防空法第十五條第六項ニ規定スル移轉費ヲ給スルニ要スル費用ニシテ都道府縣ノ負擔スルモノ及同條第七項ニ規定スル損失補償ニ要スル費用ニシテ同法第八條ノ四ノ規定ニ依ル建築物ノ使用ニ關スル法令ニ系ルモノニ付シテハ各其ノ十分ノ八乃至全額

内閣總理大臣

東條英機

内閣

六 方官去第十五條第七頁ニ規定スル損失補償ニ要スル費用（前條及第七條ニ掲グルモノヲ除ク）ニ付シテハ其ノ三分ノ二乃至全額

七 方官去第十五條第七頁ニ規定スル損失補償ニ要スル費用ニシテ司去第五條ノ四ノ規定ニ依リ是藥物（工事中ノモノヲ含ム）ニ關スル命令ニ係ルモノニ付シテハ其ノ三分ノ二

第十三條第一頁ロ「也庁長官又ハ一チ」也庁官總又ハ一ニ改ム

第十四條ノ二ロ「也庁長官一チ」也庁官總一ニ改ム

第十六條ニ左ノ一ヲ加フ

七 第七條ノ一第一頁ノ規定ニ依ル指定

第十六條ノ二第一頁ノ次ニ左ノ一頁ヲ加フ

方官ノ實施ニ際シ軍司令官、鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官ハ方官ノ實施ニ付陸海軍ノ行方衙ニ關シシムル爲ニ要ナル事項ヲ關係也庁官總ニ請テスルコトヲ得

同條第二頁ロ「若ハ海軍大臣一チ」、海軍大臣若ハ軍司令官一ニ、「前頁一チ」前二頁一ニ、「陸海軍司令官一チ」師團長、要港司令官、軍司令官若ハ師團長ノ指定スル司令官又ハ寺定ノ陸軍司令官若ハ其ノ指定スル指揮官一ニ改ム

第十六條ノ三中「及第十六條ノ五一チ」乃至第十六條ノ六一ニ改ム

第十六條ノ四 訪呈去第ニ條及第ニ條並ニ本令第一條ノ二、第十
三條、第十四條ノ二、第十六條第四號及第十六條ノ二ニ規定ス
ル主務大臣ノ職務ニ關シテハ左ノ各規ニ據ル事項ニ付テハ當
該子規ノ定ムル所ニ依ル

一 所管大臣ノ指定スル工務又ハ事業ノ訪呈ノ實施ニ關シテ
ハ之ニ必要ナル設備又ハ資材ノ整備及備裝、防彈、分散策開
轉換又ハ緊急復舊ノ實施ニ付テハ當該所管大臣

二 船舶ノ訪呈ノ實施ニ關スル事項ニ付テハ運輸通信大臣但シ

從泊中ノ船舶ニ付テハ第三號ニ掲グルモノヲ除クノ外内務大
臣及運輸通信大臣

三 鐵道、自動車交通具等ノ施設、沿泊、運輸通信大臣ノ指定
スル港湾、航路標識、航路標識、航路標識、飛行場又ハ電氣通
信施設ノ訪呈ノ實施ニ關シテハ之ニ必要ナル設備又ハ資材ハ
港湾ニ於ケル所又ハ防火ニ係ルモノヲ除クノ整備及備裝、
防彈、分散策開、轉換又ハ緊急復舊ノ實施ニ付テハ運輸通信
大臣

四 軌道ノ訪呈ノ實施ニ關シテハ之ニ必要ナル設備又ハ資材ノ

整備及爲度、防彈、分枝束閉、轉換又ハ應急復舊ノ實施ニ付テハ内務大臣及逓信大臣

五 文部大臣ノ指定スル學校ノ防犯ノ實施ニ關シテハ之ニ必要ナル設備又ハ資材ノ整備及爲度、防彈、分枝束閉、轉換又ハ應急復舊ノ實施ニ付テハ内務大臣及文部大臣

六 防疫及應急勞務ノ調整ニ關シテハ其ノ實施及實施ニ必要ナル設備又ハ資材ノ整備ニ付テハ厚生大臣

七 非常用ニ資ノ配給ニ關シテハ其ノ實施及實施ニ必要ナル設備又ハ資材ノ整備ニ付テハ當該物資ノ配給ニ係ル行政ノ所管大臣

八 救護、清掃及給水ニ關シテハ其ノ實施及實施ニ必要ナル設備又ハ資材ノ整備ニ付テハ内務大臣及厚生大臣
九 應急復舊ニ關スル員員ニ付テハ逓信大臣

主務大臣前項第一號、第三號又ハ第五號ノ規定ニ依ル指定ヲ爲サントスル場合ニ於テハ内務大臣ニ協議スベシ

第十六條ノ五 防犯法第三條第一項及本令第十六條第三號前段

ニ規定スル主務大臣ノ職權ニ關シテハ各號ニ據グル事項

ニ付テハ當該各號ノ定ムル所ニ依ル

一 工場ニ付テハ内務大臣及當該工場ニ係ル行政ノ所管大臣

二 鑛山又ハ電氣、瓦斯石、石油ニ關スル事業若ハ施設ニ付テハ内務大臣及申請大臣

三 鐵道、軌道又ハ電氣通信、海運、自動車交通若ハ航空ニ關スル事業若ハ施設ニ付テハ内務大臣及運輸通信大臣

四 水道ニ付テハ内務大臣及厚生大臣

第十六條ノ六 防空法第五條ノ七及本令第三條ノ二ニ規定スル主務大臣ノ職務ハ第十六條ノ四第一項第一號乃至第四號ニ掲グル施設又ハ之ニ係ル事業ニ關シテハ同條ニ定ムル區分ニ從ヒ所管大臣、總動員物資ニ關シテハ當該物資ノ配給ニ係ル行政ノ所管大臣之ヲ行フ

第十六條ノ四第一項第一號、第二號本文及第三號ニ規定スル所管大臣並ニ前項ニ規定スル總動員物資ノ所管大臣防空法第五條ノ七ノ規定ニ依ル命令ヲ爲サントスル場合ニ於テハ内務大臣ニ協議スヘシ

第十六條ノ七 防空法第二條並ニ本令第一條ノ三、第一條ノ四、第十三條、第十四條ノ二及第十六條ノ二ニ規定スル地方官廳ノ

職務ハ左ノ各號ニ掲グル事項ニ付テハ當該各號ノ定ムル所ニ依リ、其ノ他ノ事項ハ第十六條ノ四第一項第一號乃至第五號ニ掲グル事項ニシテ當該各號ニ規定スル所管大臣ノ指定スルモノヲ除クニ付テハ地方長官之ヲ行フ

一 第十六條ノ四第一項ノ規定ニ依リ申請大臣ノ指定スル礦山ノ防空ノ實施ニ關シテハ之ニ必要ナル設備又ハ資材ノ整備及修裝、防弾、分散疎開、轉換又ハ危急復舊ノ實施ニ付テハ礦山監督局長

二 軍氣通信施設ノ防空ノ實施ニ關シテハ之ニ必要ナル設備又ハ資材ノ整備及修裝、防弾、分散疎開、轉換又ハ危急復舊ノ實施ニ付テハ通信局長

三 船舶ノ防空ノ實施ニ關スル事項ニ付テハ海運局長但シ碇泊中ノ船舶ニ付テハ第四號ニ掲グルモノヲ除クノ外地方長官及海運局長

四 船舶又ハ第十六條ノ四第一項ノ規定ニ依リ運輸大臣ノ指定スル港爲ノ防空ノ實施ニ關シテハ之ニ必要ナル設備又ハ資材（巻筒ニ於ケル消火又ハ防火ニ係ルモノヲ除ク）ノ整備及備後、防弾、分散疎開、轉機又ハ應急復舊ノ實施ニ付テハ海運局長

五 鐵道ノ防空ノ實施ニ關シテハ之ニ必要ナル設備又ハ資材ノ整備及備後、防弾、分散疎開、轉機又ハ應急復舊ノ實施ニ付テハ鐵道局長

六 軌道ノ防空ノ實施ニ關シテハ之ニ必要ナル設備又ハ資材ノ整備及備後、防弾、分散疎開、轉機又ハ應急復舊ノ實施ニ付テハ地方長官及鐵道局長

七 應急運輸ニ關スル事項ニ付テハ地方長官及海運局長又ハ鐵道局長

第十六條ノ八 防空法第三條第二項並ニ本節第十五條及第十六條第三號後段ニ規定スル行政官署ノ職務ハ地方長官之ヲ行フ但シ船舶合衆ニ依ル事項ニ付テハ該合衆ノ定ムル所ニ依リ、工場又ハ事業場（並出ア際ク）ニ付第十六條ノ四第一項第一號ニ規定スル事項ニ付テハ同條ニ規定スル所管大臣、航空ニ關スル事業又ハ施設ニ付同項第三號ニ規定スル事項ニ付テハ運輸局長

大臣之ヲ行フ

防空法第八條ノ五ニ規定スル行政官職ノ職務ハ地方長官之ヲ行フ也シ運輸通信ニ關スル業務ノ再開又ハ繼續ノ命令ニ係ル職務ハ航空又ハ海運ニ關スルモノニ在リテハ運輸通信大臣、通信ニ關スルモノニ在リテハ逓信局長、鐵道、軌道又ハ小運送ニ關スルモノニ在リテハ鐵道局長之ヲ行フ

防空法第十一條第一項ニ規定スル行政官職ノ職務ハ内務大臣、陸軍大臣、海軍大臣、文部大臣、厚生大臣、農商大臣、軍需大臣、運輸通信大臣、地方長官、礦山監督局長、逓信局長、海運局長又ハ鐵道局長之ヲ行フ

第十六條ノ九 東京都ニ在リテハ防空法第五條ノ二乃至第五條ノ

四、第五條ノ六、第八條ノ四及第十二條ノ二並ニ本令第三條ノ五乃至第三條ノ八、第三條ノ十一及第十一條中地方長官トアルハ東京部長官トシ防空法第八條ノ二及前條第二項中地方長官トアルハ警視總監トス
別記様式中裏面ノ部ヲ左ノ如クス

裏面

防空法摘要

第十一條 防空ニ關スル調査ノ爲必要ナルトキハ行政官職又ハ市町村長ハ初等ノ定ムル所ニ依リ關係者ニ對シ資料ノ提出ヲ命ジ又ハ官吏若ハ吏員アシテ關係アル場所ニ立入り検査ヲ爲サンムルコトヲ得世シ私人ノ邸宅竝ニ業務上ノ秘密ニ關スル事項及設備ニ付テハ此ノ限ニ任ラズ
前項ノ規定ニ依リ立入ル場所ニ於テハ其ノ旨豫メ其ノ場所ノ管理者ニ通知スベシ

該官吏又ハ吏員第一項ノ規定ニ依リ關係アル場所ニ立入ル場合ハ其ノ證
票ヲ携帯スベシ

第十九條ノ三 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第八條ノ七第一項ノ規定ニ違反シタル者

二 第十一條第一項ノ規定ニ依ル資料ノ提出ヲ屬サズ若ハ虛偽ノ資料ヲ提
出シ又ハ該官吏若ハ吏員ノ立入檢査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタル者

防空法施行令摘要

第八條 防空法第十一條第一項ノ關係者ハ同法第五條ノ二、第五條ノ四乃至
第五條ノ六若ハ第八條ノ四ニ掲グル建築物（工事中ノモノヲ含ム）、第三
條ノ八（第七條ノ四ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）、第三條ノ九若ハ第三條
ノ十一ニ掲グル建築物、第三條ノ二若ハ第三條ノ三ニ掲グル土地、工作物
右ハ物件、第二條右ハ第三條ノ二ニ掲グル事業若ハ施設、第三條ニ掲グル
特殊施設又ハ第三條ノ六若ハ第三條ノ七ニ掲グル營業所其ノ他ノ業務ノ場
所ノ管理者又ハ所有者トシテ關係アル場所ハ此等ノ者ノ管理又ハ所有者ハ土
地及建物其ノ他ノ工作物トス

防空法第十一條第三項ノ證票ハ別記様式ニ依ル

第十六條ノ八第三項 防空法第十一條第一項ニ規定スル行政官廳ノ職務ハ内務
大臣、陸軍大臣、海軍大臣、文部大臣、厚生大臣、農商大臣、軍需大臣、
運輸通信大臣、地方長官、礦山監督局長、逓信局長、海運局長又ハ鐵道局
長之ヲ行フ

附則

本令ハ昭和十八年法律第百四號應行ノ日ヨリ之ヲ施行ス